

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 人間科学部 健康栄養学科

名 前 平子哲史

作成日 2023年9月21日

1. 責務 (何を行っているか、何を果たしているか)

現在、以下の科目を担当している。

栄養学各論Ⅰ (必修、2 学年)、栄養学各論Ⅱ (必修、2 学年)、解剖生理学実習 (必修、2 学年)、応用栄養学実習 (必修、2 学年)、臨床医科学入門 (必修、3 学年)、管理栄養士基礎演習Ⅳ (必修、3 学年)、コミュニケーション実習Ⅰ (必修、1 学年)、コミュニケーション実習Ⅱ (必修、2 学年)、管理栄養士総合演習 (必修、4 学年)、卒業研究 (必修、3, 4 学年)

また、以下の委員会に所属している。

FD・SD 委員会、広報委員会、学習支援 WG (副委員長)、大学院アドミッション委員会

学科内では、4 年生担任、国家試験対策および謝恩会を担当している。

健康栄養学科の教育研究上の目的の中でも特に、専門知識とコミュニケーションスキルの習得および管理栄養士国家試験合格に尽力している。

2. 理念 (教育に対する考え方)

学生にとってわかりやすく、興味を持てる授業を目指している。そのうえで、講義授業については、説明+演習方式による一講義完結型スタイルを実施したいと考える。1 回の講義の中で、根本的理解につながる知識の説明と、その知識の修得を確認するための演習を授業開始冒頭と終わりに実施し、毎回の講義のポイントを学生が体験的に理解できるよう配慮する。さらに、アクティブラーニング型授業 (講義+アクティブラーニング) を取り入れたいと考える。授業中にグループごとに討議を重ねていき、発表させることで、傾聴や質問など学生自ら学習に有効な体験をする事で知識のみならず、多様な社会で他者と協調しながら生活するためのスキルの定着を図る。

3. 方法 (教育方法において大切にしていること)

グループ学習やアクティブラーニングを授業に取り入れることで、健康栄養学科のディプロマポリシーにあるように、管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーションスキルを身につけていることができるような教育を目指している。また、管理栄養士としての専門的知識を学びながら、社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、他者への思いやりなどの資質を身につけることを目指している。

4. 成果 (学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について)

「栄養学各論Ⅰ」の授業アンケートでは、「資料がわかりやすい」「毎回の小テストや穴埋めの資料がテスト勉強に役立ってよい」「資料を最初にまとめて配布してくれよかった」といった評価をいただいた。一方で、「資料が多すぎる」「声が聞こえにくい時がある」などの意見もあったので、全員の理解が深まるようにさらに工夫をしていきたいと思っている。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

短期目標は、管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーションスキルを身につけていることの重要性を学生に認知させることである。6 か月後の達成を目指す。

中期目標は、管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーションスキルを学生に身につけさせることである。

【添付資料】

シラバス